



図書館だより



2020年3月号 NO. 365
北茨城市立図書館
茨城県北茨城市磯原町本町 2-5-16
TEL 0293-42-1451



春の訪れ ～ 「梅の花」

寒い冬がようやく終わり、暖かな春がやってきました。野には、たくさんの花が咲き始めています。そのなかで、ひととき早い時期に可憐な花とその香りを楽しませてくれるものに、梅の花があります。

梅は春を告げる花として、古来より人々に愛されてきました。「万葉集」にも数多く登場し、詠まれた歌は118首あるそうです。

学問の神様として知られる菅原道真(すがわらのみちざね)も、梅を愛したことで有名です。自邸の庭に梅の木があり、その邸宅は紅梅殿(こうばいどの)と呼ばれました。901年、都から大宰府に流されたとき、愛する庭の梅の木に惜別の想いを込めて「東風(こち)吹かばにほひおこせよ 梅の花 主なしとて 春を忘るな」(春の風が吹いたら、その風に託して花の香を送ってほしい、梅の花よ、自分がいなくなっても春を忘れず、また咲いておくれ)と詠みました。すると、梅の木が大宰府まで飛んでいって花を咲かせた、という「飛梅(とびうめ)伝説」も生まれました。また、梅の花は天満宮の紋章にもなっています。

梅には多くの別名があります。春告草(はるつげぐさ)、白草(においぐさ)、風待草(かざまちぐさ)・・・など。花言葉は、澄んだ心・高潔。

by みーやん

《 図書館カレンダー 》 印は、休館日です。

★ 開館時間 午前9時30分～午後6時 ★

☆ 2020年3月 ☆

☆ 4月 ☆

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

★ 3月3日(火)～5日(木)は、特別整理期間のため閉館です。
期間中に、本の点検作業を行います。★



★ YABOOKご紹介 ★



『かがみの孤城』

一般書 913.6 ツジ 辻村深月 / 著 ポプラ社

ある日、突然部屋の鏡が虹色に光りだす。

不登校の中学生7人が、自宅の鏡を通して不思議な世界に集められる。そこには、狼の仮面をかぶった小さな女の子がいた。

ファンタジーとリアルが絶妙に混ざり合いながら物語は進んでいきます。それぞれに問題を抱え、心に傷を負っている7人。色んな葛藤と戦い、助け合う姿に勇気がもらえます。“生きる”ということを少年少女の視点から考えさせてくれます。

この不思議な世界は？ 何故この7人が集められたのか？

たくさんの謎が、最後にきれいに解き明かされます。伏線回収を楽しみながら、感動とスッキリとした読後感を味わっていただけます。

今、家と学校が全てで、生きづらさを感じている中高生や大人にも、スッと心に沁み込んでくる深い言葉がたくさん見つかる素敵なお話です。

★ 図書館員のひと一言 ★

(勝手に) 海外文学推進委員会 : テーマ「児童文学で読む戦争」

海外文学、とりわけ児童書となると、これまであまり縁のなかった方も多くいらっしゃるのではないでしょうか。そんな方に、海外文学推進委員会(会員募集中!)がおすすめする本をご紹介します。

① 『弟の戦争』ロバート・ウェストール / 作 原田 勝 / 訳 徳間書店

弟のフィギスには、遠く離れた人の心を読み取る不思議な力があり、兄のトムは、そんな弟を心から大切にしてきた。しかし、1990年、湾岸戦争がはじまったある夏の日、弟は、奇妙な言葉を喋りだして、「自分はイラクの少年兵だ」と言いはじめた…。

イラクの少年兵ラティーフの戦争が、フィギスを通して、トムへとダイレクトに伝わる。怒り、怯え、恐怖、理不尽。暴発しそうな感情と、圧倒的なエネルギーが、牙をむいて襲いかかってくるような感覚。戦争が、すぐそばにある。すぐそこに、ある。

② 『凍てつく海の向こうに』ルータ・セペティス / 作 野沢 佳織 / 訳 岩波書店

舞台は第二次世界大戦末期、ドイツ領下の東プロイセン。国籍も立場も異なる4人の若者の視点から、物語は紡がれる。

彼らの胸には、拭いきれぬ後悔があり、復讐があり、忘れてしまいたい記憶があり、知らずに偏った思想がある。生まれ育った国を思う気持ちも、別れた家族に会いたいという気持ちも、人を好きになる気持ちもある。けれど、爆撃が、終わりの見えない逃亡が、飢えや寒さが、暴力が、わずかに残った心の尊い部分を、いとも簡単に踏みつぶしていく。実際に起きた大惨事をもとに描かれたという衝撃的な事実が、さらに心を暗くさせる、悲劇の物語。

ご紹介した2冊は、ともに重く、苦しく、情け容赦なく、心に影を落とすような、つらくかなしい物語かもしれません。しかし、文体の中でキラリと光るユーモアや、登場人物たちの会話の妙など、外国文化ならではの独特のセンスを味わうことができます。読み応えのある作品ですので、ぜひチャレンジしてみてください。

トム・ソーヤ通信 No.355

★ 毎月、新着図書の中から、職員が
お薦めの本を紹介しています。★

◇ 小さな幸せが見つかる 世界のおまじない ◇

一般書147千 亀井 恵里 / 絵 パイインターナショナル

皆さんはどんな「おまじない」を知っていますか？

この本に出てくる「おまじない」は、それぞれの世界各国の暮らしに取り入れられた、幸運をもたらすおまじないを、美しいイラストで紹介しています。

イギリスでは、ドングリのおまじない・・・

モンゴルでは、赤ちゃんが安眠できるおまじない・・・

ヨーロッパでは、未来の恋人のイニシャルが現れるおまじない・・・など。

皆さんも「おまじない」でちいさな幸せを見つけて下さい。 by ねこのしっぽ

◇ タカラツカの謎 ◇

一般書775モ 森下 信雄 / 著 朝日新聞出版

宝塚歌劇は2014年に100周年を迎え大いに盛り上がりました、普通ならいくら100周年といっても、数年も経てば落ち着きを見せるものですが、宝塚歌劇は違っていました。5年も経つのに世間の関心はむしろ高まる一方で、年間公演回数は1300回、年間観客動員数は300万人に達し、なお「成長」を続けています。

エンタメ業界で「一人勝ち」を続ける宝塚歌劇の人気の秘訣とは何か。タカラツカのビジネスモデルと「男役スター」を支える大人女子に焦点をあて、宝塚歌劇が人々を魅了する本当の理由に迫ります。 by 左利き

◇ おかあさんがおかあさんになった日 ◇

児童書Eオカ 長野 ヒホ子 / 作 童心社

いつもそばにいてくれるのが自然で、当たり前のようなおかあさん。一人一人に誕生日があるように、おかあさんがおかあさんになった日があります。それは、私たちが、おぎゃあと生まれた日と一緒にです。

赤ちゃんが生まれるまでに、おかあさんはたくさんのことを考えて、ワクワクしたり、ドキドキしたりしています。親子で一緒に読んで、いつもは恥ずかしくて、向き合って言えない素直な気持ちを、おたがいに話したくなるような1冊です。 by ゴジ

◇ おじさんとカエルくん ◇

児童書Eオジ リンダ・アシュマン / 文 あすなろ書房

雨の日に、ふきげなおじさんと、カエルのぼうしをかぶったうれしそうな男の子がいました。そんな2人がカフェで出会います。何かがおこりそう・・・。

だって、おじさんすごくこわい顔をしているんです。どうしたら、おじさんも、男の子みたいに、笑顔になってくれるかな。雨の日のお話です。 by プリン



◇ フラウンぼうやのとびきりさいこうのひ ◇

児童書Eフラ イソベル・ハリス / 文 アンドレ・フランソワ / 絵 ロクリン社

豪華なホテルで、パパとママと3人で暮らしているブラウンぼうや。ホテルで働いている人はみんなぼくの友達。中でも一番の仲良しは、メイドのヒルダ。

ある日、郊外にあるヒルダの家に招待してもらったブラウンぼうや。おうちのお手伝いをしたり、雪だるまを作って遊んだり…。

☆大人には日常的なことが、子どもにとってはすべてがはじめて。温かみがあってどこか懐かしく感じられる絵本です。

by ドラ

◇ しずかな魔女 ◇

児童書913イ 市川 朝久子 / 作 岩崎書店

不登校の草子（そうこ）は、平日、図書館で過ごしている。ある日、知らないお婆さんの心無い言葉にショックを受けたことがきっかけで、司書の深津さんと知り合う。「しずかな子は魔女に向いている」…深津さんの言った言葉が気に入り。草子は勇気を出してその文章が書いてある本を、図書館カウンターで質問する。すると、何日かして、館長さんから封筒に入った白い紙の束が渡された。その紙に書かれていた物語は…。☆お話の中に図書館が出てくるとちょっとうれしくなってしまう(~/

by ビクトリア



「おはなし会」のお知らせ

★ 図書館おはなし会 ★

3月11日（水）、18日（水）
午前10時～10時30分



★ エプロンヒロ子さんのエプロンシアター ★

3月14日（土）
午前10時～10時30分



★ ぽっぽのおはなし会 ★

3月25日（水）
午前10時～11時



★ メリアンさんの英語のおはなし会 ★

3月28日（土）
午前10時～10時30分

すべて参加自由・無料です。
会場は、1階おはなし室です。